

## 仙台・県小学生プログラミング大会 発想自由に未来を表現



最優秀賞の表彰を受ける「海辺のパン屋さん」チームのメンバー

### 白百合学園小生らチーム 最優秀

「みんなの mirai」をテーマに製作したクイズやゲームなどを競う県小学生プログラミング大会（河北新報社、東北工大など主催）が14日、仙台市太白区の東北工大八木山キャンパスであった。最優秀賞に仙台白百合学園小2年中村美音さん（8）ら4人でつくる「海辺のパン屋さんチーム」が選ばれた。

43件の応募のうち、10月の事前選考を通過した11作品が発表された。仙台市教委のプログラミング教育研究部会の安藤明伸アドバイザーら5人が、発想や表現力などを評価した。

中村さんらは「AIロボットパン屋さん」と名付け、顔認証で入店時のマスク着

用の有無を判別できるようにし、会計の円滑化に音声認識システムを活用した。来年3月、オンラインで開かれる全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。

中村さんは「想像以上にうれしい。全国大会でもみんなで力を合わせて頑張りたい」と話した。

入賞者は次の通り。（敬称略）

▽最優秀賞 「海辺のパン屋さんチーム」中村美音（仙台白百合学園小2年）香川空翔（仙台市高森小2年）斎藤一豊（同）野崎涼加（仙台市寺岡小2年）  
▽優秀賞 「トリプルギャートルズ」常見胡桃（美里町青生小4年）佐々木望翔（大崎市古川小4年）伊藤俊亮（同古川三小4年）▽優良賞 田村直樹（宮城県東向陽台小6年）▽審査員特別賞 熊谷陸（仙台市川平小6年）清野智優（同館小5年）